

われら小千谷市消防団

No. 36

# 団報 火の見やぐら

火事と救急は119番

発行 小千谷市消防団本部（広報部）

2020年3月号



放水訓練（市内白山運動公園駐車場にて）

## 令和元年10月から令和2年3月まで主な活動内容

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 10月・第1回副分団長以上会議 | 1月・FMラジオ番組出演 |
| ・消防団総合演習        | ・消防出初式       |
| ・女性消防団員活性化大会    | ・文化財防火デー     |
| 11月・消防団施設点検     | 2月・甲種防火管理者講習 |
| ・秋の火災予防運動       | 3月・車両交付式     |
| ・消防フェスティバル      | ・第2回副分団長以上会議 |
| ・ひとり暮らし高齢者宅防火訪問 |              |
| 12月・車両交付式(干三)   |              |
| ・ポンプ操法訓練会       |              |

## 第1回副分団長以上会議

10月16日(水)、19時より令和元年度第1回副分団長以上会議が消防本部3階講堂に於いて行われました。

会議は冒頭、大塚市長、富井団長よりあいさつがあり、その後議題と報告事項について話し合われました。



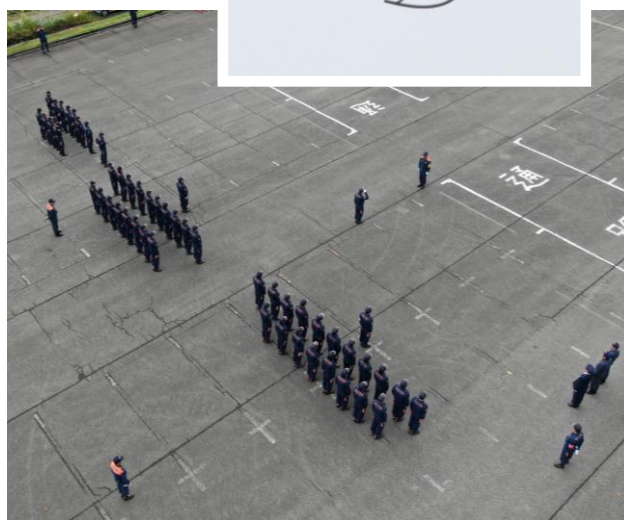
## 消防団総合演習

10月20日(日)、白山運動公園第2駐車場に於いて、令和元年度小千谷市消防団総合演習が行われました。

消防団に集合がかけられると小隊編成が開始され、各中隊長より水内大隊長に出動人員及び車両の報告が行われ、次いで水内大隊長より統括の富井団長へ同様に報告が行われました。

演習は水内大隊長指揮の下進行し、来賓を随行しての観閲後、通常点検が行われ、大塚小千谷市長、渡邊消防長が点検者を務められました。

また、この様子は消防署に新規導入されたドローンで消防団員への事前お披露目を兼ねて飛行撮影しました。







休憩をはさみ分列行進を行い整列、点検者の講評を頂き、表彰伝達などの後、引き続き放水訓練会が行われました。



放水訓練においては横田訓練部長総指揮の下、各分団5名の隊で一斉に放水を行い火点に見立てた的を落とす訓練で、独自の実施要領で行ないます。

ただ、停止線以外の要領はポンプ操法には準じないとしているものの、安全かつスピーディな機材取扱いなど必要とされる動作は操法に重なってきます。操法の必要性も再確認できることと思います。

なお、各分団長、並びに本部員で検証を行い、今後への参考といたしました。



## 女性消防団員活性化大会

10月26日(土)、第3回新潟県女性消防団員活性化大会が糸魚川市に於いて行われ、当市からは渡邊消防長、富井団長、女性消防団員9名が参加しました。

以下、女性部村田団員よりレポートをいただきました。ありがとうございます。

会場である糸魚川市民会館に入ってすぐにゆるキャラの出迎えがあり、「各地域の女性消防団の取り組み」の紹介や「団員募集のポスター」が展示してありました。開場前にみんなで見て回り参考になりました。

講演は、赤羽消防団副団長、小澤浩子様から、「パワー全開！女性消防団員～活動の充実強化と課題～」という題目で全国の取り組みや課題を紹介いただき、新潟県においても「団員数の減少」は深刻であるという話から、当市もまさに抱えている課題であると共感しました。また、災害が多い昨今、女性ならではの役割、例えばコミュニケーション力や、笑顔という観点からゴルフで一躍有名になった渋野さんの愛称「スマイルシンデレラ」を用いて笑顔の効力という話をいただき、私自身もできることで地域に寄り添える団員になりたいと感じました。

その他、糸魚川市消防団員の活動事例の発表、ポンプ操法の全国大会に出場する南魚沼さんの決意表明があり大会に向けて気合いが入った練習の様子がうかがえました。

情報交換会では、他地域の方と取り組みや近況報告を話したり聞くことができ有意義な会となりましたことを報告します。





## 消防団施設点検

11月3日(日)午前、巡回方式による消防団施設点検が行われました。

消防団本部員と消防本部職員で、担当地区を巡回し、点検をして要望等を聞きました。

各分団、各部より要望が出されましたが、即対応可能なことと、検討が必要なことといろいろありました。各部とも施設は整理整頓されていました。今後も引き続きよろしくお願ひ致します。



## 秋の火災予防運動

春の火災予防運動が11月9日(土)から15日(金)の期間で行われました。

今年度の全国統一防火標語は『**ひとつずつ いいね！で確認 火の用心**』です。

連日各団による防火広報が行なわれた他、11月11日には消防フェスティバル、11月18日と19日にはひとり暮らし高齢者宅防火訪問が行なわれました。



一般社団法人 日本損害保険協会 後援: 消防庁  
日本損害保険協会は、防火ポスターの作成を通じて、広く国民の防災・防火意識の高揚を図っています。

## 消防フェスティバル

11月11日(月)、秋の火災予防運動に併せて、第35回消防フェスティバルがイオン小千谷店に於いて行なわれました。幼年消防クラブ等の防火団体と協力し、市民の防火防災意識の高揚と住宅用火災警報器の普及促進を図ることを目的としています。

生まれ変わった(?)小千谷のゆるキャラ「よしたくん」を筆頭に、参加者全員で店内を防火パレードをした後、小千谷幼稚園、西保育園、北保育園の園児の皆さんが元気よく遊戯を披露してくれました。



それにあわせて店内各所で、婦人防火クラブと女性消防団員の皆さんが、チラシ及びポケットティッシュの配布を行い防火を呼びかけました。



最後は恒例の風船飛ばしを行い、園児たちの笑顔のもとイベントは終了しました。





## ひとり暮らし高齢者宅防火訪問

11月18日(月)午後と19日(火)午前、ひとり暮らし高齢者宅防火訪問が行なわれました。女性部からは18日は森本団員が、19日には石田部長が参加し、東北電力、社会福祉協議会と合同で計11世帯の高齢者宅を訪問し、住宅用火災報知器の設置や作動確認を行い、防火チラシによる火災予防啓発活動を展開しました。

## 車両交付式

12月8日(日)午前、消防本部車庫内にて消防団車両交付式が行われました。今回の更新車両は、第6分団第1部(干三)の積載車です。

富井団長より第6分団に交付書(目録)が手渡されて、福原洋副分団長が宣誓書を読み上げました。

積載車は、近年配備されてる車両と同様に、小型ポンプは軽量コンパクトな最新型のポンプが搭載されました。かなり軽量なため、現場でも安全に持ち運びが可能で、団員の負担も軽くなると思います。

これから長期間使用するため、日々の点検、管理をお願い致します。



また、令和2年3月8日(日)には、第8分団第1部(二之町)に配備する消防ポンプ自動車(CD-I型)の交付式が行われました。

富井団長より第8分団第1部本田部長に目録が手渡され、宣誓を第8分団太刀川副分団長が行いました。

## 地域防災力向上シンポジウムin新潟2019

地域防災力を考える

横田 雅夫

令和元年12月8日(日)、魚沼市地域振興センターコンベンションホールにて、地域防災力向上シンポジウム2019が開催されました。

公益社団法人中越防災安全推進機構総括本部長、稲垣文彦氏の基調講演から始まりました。稲垣氏は、山古志ボランティアを例に出し保守的、依存的な田舎のお年寄りが地域おこし協力隊に出した漬物を褒められ、地域のイベントや道の駅などへの出品を通して自信を持ち、農家レストランを経営する人まで現れ、よそ者が村に入った事により、当初ネガティブな村民がポジティブな心に変わる事ができたと説明されました。

近年の災害については、自然現象の種類、大きさと時間や場所により、被害の度合いが変わる。もし平日であれば、地域の工場にお手伝いをお願いするなど、普段訓練で行なわない想定も必要だと言われました。

後半では、消防団をはじめとする各団体の事例発表後、講師とパネルディスカッションが行なわれました。

今回参加して、消防団員が地域住民から厚い信頼を感じると同時に、消防団活動だけでなく、地域コミュニケーションの要となる活動も必要だと思いました。

## FMラジオ番組出演

1月10日(金)サンプラザに於いて、FM新潟「おぢや ファンファンCHANNEL」の生放送があり、本団員より久賀副団長が出演致しました。

番組の中で、地元の情報を伝えるコーナーがあり、そのコーナーにて久賀副団長が2日後に行われる出初式のPRや現在の消防団の現状や女性消防団の活動内容と、消防団員が不足している現状を話して頂きました。

このラジオを聞いて、消防団に少しでも興味を持ってもらい、団員が増えることを願っています。





## 消防出初式

1月12日(日)午前、令和2年消防出初式が行われました。

朝、二荒神社にて無火災祈願の神事が執り行われました。その後、本町に於いて水内副分団長の指揮の下、徒歩部隊と車両による分列行進が威風堂々で行われました。今回は例年より30分遅れで開始されましたが、そのおかげか天候に恵まれ多くの市民の皆様が見物に来られました。



パレード後、サンプラザ駐車場に於いて放水訓練を行いました。横田訓練部長の統括で、吉原副訓練部長の指揮により、各分団の小型ポンプとポンプ車・はしご車によるバリエーション放水を披露して頂きました。事前練習のおかげで良い放水が出来たと思います。



サンプラザ大ホールでの式典では、無火災町内の表彰を行いました。表彰された町内の皆さんおめでとうございます。今後も引き続き火の用心をよろしくお願い致します。

表彰された町内は次ページ掲載の通りです。

## 無火災表彰町内

### 300世帯以上500世帯未満（5年無火災）

元中子（15年連続）

### 500世帯以上（3年無火災）

東栄（9年連続）

## 小千谷市消防団協力事業所

- ・オヂヤセイキ株式会社

上記事業所が加わり、全部で14事業所となりました。  
他に小千谷市では下記の事業所が参加しています。

- ・日本ベアリング株式会社
- ・株式会社第一測範製作所
- ・株式会社共栄農工社
- ・エヌ・エス・エス株式会社
- ・丸山建設株式会社
- ・越後おぢや農業協同組合
- ・阿部幸製菓株式会社
- ・株式会社北越舗道
- ・ケーエスエス株式会社
- ・ユキワ精工株式会社
- ・理研精機株式会社
- ・秀和建设株式会社
- ・エヌエスアドバンテック株式会社

### 消防団協力事業所表示制度とは

事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度です。

「消防団協力事業所」として認められた事業所は、取得した表示証を社屋に提示でき、表示証のマークを自社ホームページなどで広く公表することができます。

## 文化財防火デー

1月26日(日)土川町内の魚沼神社境内に於いて文化財防火デーによる、防火訓練が行われました。

今年の訓練は例年のない暖冬で積雪もなく、当日は晴天の中で消防団と消防署と自主防災会が訓練を実施しました。

訓練では、第2分団のポンプ車と、はしご車による放水訓練が行われ、その後、水消火器による消火訓練が行われました。



そして、富井団長と村山署長から講評を頂き訓練を終了しました。

日曜日で忙しい中、参加していただいた団員の方々ありがとうございました。



## 甲種防火管理者講習

2月16日(日)、消防本部3階講堂に於いて甲種防火管理新規講習が開催されました。

この講習会は第四次整備計画に基づき、3年ごとに行われている資格講習で、班長以上の階級に3年以上従事された団員が受講費用無料で受けることができます。



当日は合計31名の団員が受講し、無事に渡部予防部長から修了証が交付されました。

## ポンプ操法について

ポンプ操法大会に向けて参加分団の皆さんが精力的に練習に励まれています。今回は訓練部長の横田分団長よりコメントをいただきました。

日頃より消防団活動にご協力頂き、大変ありがとうございます。令和2年度の小型ポンプ操法は、第2分団・第6分団。ポンプ車操法は、第4分団が行ないます。近年のポンプ操法の傾向は、タイム重視から減点されない操法に変わりつつあります。又、ポンプ操法大会で強く感じる事は、普通の規律ではなく、丁寧な規律です。消防団の「気をつけ」ひとつにしても目の向き、指の先、足の角度、肩の開き具合など、普段の体の動かし方と違い難しいです。ポンプ操法の選手だけでなく消防団員全員に丁寧な規律を理解いただきたいと考え、基本を優先したポンプ操法訓練を行なっています。今年度は、選手の体調、分団の考え方を考慮した中で、各分団の訓練方法、訓練方針を訓練部と共有しながらポンプ操法訓練を進めますので、よろしくお願いします。

訓練部長 横田雅夫

## 編集後記

昨年秋には、新潟県防災訓練や小千谷市健康福祉まつりなど台風19号の影響でイベントの中止が相次ぎました。そして年が明けてから現在、記録的な暖冬小雪に喜ぶ間もなく、新型コロナウイルスの脅威によりイベント中止どころか学校の臨時休校などに至り毎日ニュースで騒がれています。早期の終息が望まれます。

2ページで紹介しているドローンの形式は「MAVIC 2エンタープライズ」とのことです。仕様等興味のある方はぜひ検索してみてください。

右の写真は、記事には間に合いませんでしたが、第8分団に交付された新ポンプ車です。最新式で機能も良くなっています。理解を深め、これまで同様に永く大切に取り扱いってください。



### 団報 火の見やぐら No. 36

発行 小千谷市消防団本部  
事務局 小千谷市消防本部総務課内  
住所 小千谷市城内3丁目1番9号  
TEL 0258-83-0236  
FAX 0258-82-0209

Eメール syobou-soumu@city.ojiya.niigata.jp